

市役所新庁舎開庁に伴うメリットは 手続が1カ所で完結できる



佐々木 聡
(至誠の会)



議員 現在、市庁舎は第1庁舎から第5庁舎と大渡町の保健福祉センター内、鈴子町のシープラザ釜石内、嬉石町の市民交流センター内にあるが、新庁舎開庁に伴い、どこまで行政機能が集約されるのか。また、そのメリットは何か。

市長 これまで当市では、行政機能が分散していたことで、市民の皆様が複数の庁舎を移動しながら手続を行う必要があり、ご不便をかけてきた。新市庁舎では、これらの機能を集約

することで、各種手続が1カ所で完結できるワンストップサービスが可能となり、市民の皆様の利便性の向上が図られる。また、来庁の際、駐車場の利用環境の改善に加え、バス停を敷地内へ移設することで、公共交通との接続が向上し、



利便性の向上が期待される窓口

より利用しやすい庁舎となる。さらに、庁舎内の窓口配置や動線を分かりやすくすることで、来庁された方が迷うことなく手続を行える環境を整備している。施設面では、エレベーターや多目的トイレの設置、段差の解消、案内表示の充実など、ユニバーサルデザインを考え方を取り入れ、誰もが安心して利用できる環境を整備している。あわせて、市産木材の活用などで、地域性や温かみを感じられる空間づくりに努めるとともに、交流スペース「みんなのホール」や相談室の充実で、市民が気軽に利用できる開かれた庁舎とした。

障がい者福祉計画における人材確保は 基盤は行政が、地域には補完を期待



磯崎 翔太
(創政会)



議員 第4次障がい者福祉計画において、福祉に従事する人材は十分に確保できるか。

市長 今後の人口構造や労働力の状況を踏まえれば、必要な人材が十分に確保できるとは考えてない。基盤となる部分は引き続き行政が、地域の皆様には日常生活の延長線上にある取組を補完的に担ってほしい。

議員 委託先との契約において、個人情報取扱いについてどのような合意がされているか。

総務企画部長 釜石市の保有する個人情報等の適切な管理のための措置に関する規定に基づき運用をしている。外部委託する場合、個人情報情報の適切な管理を行う能力を有する者を選定する旨などを規定している。また、委託先の責務を明確に



誰もが暮らしやすい
障がい福祉計画に

規定した特記事項を契約時に添付している。

議員 義務教育下にある児童のSNS利用についてどのような指導が行われているか。また、利用の是非については。

教育長 個人情報や、プライバシー、肖像権の保護や人権などについて指導を行っている。家庭の協力も必要のため、参観日に合わせて情報モラルについて親子で学ぶ機会を設けている。今後も連携しながら取り組みが、誰でも加害者や被害者となってしまうため、国として一定の制限を設けることも必要であると考えている。